

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第3区分
【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公開番号】特開2005-323336(P2005-323336A)
【公開日】平成17年11月17日(2005.11.17)
【年通号数】公開・登録公報2005-045
【出願番号】特願2005-65728(P2005-65728)
【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

接続部を介して互いに回動可能に接続された第1のケース及び第2のケースと、
撮像手段と、
前記撮像手段を連続的に駆動させることにより動画ファイルを取得する動画取得手段と

、
前記接続部を介した前記第1のケースと前記第2のケースとの相対的な位置関係の変化
を検出する第1の検出手段と、

前記第1の検出手段による検出に基づいて、前記動画取得手段による動画ファイルの取
得の開始若しくは終了を制御する取得制御手段と、

を備えたことを特徴とする動画撮影装置。

【請求項2】

前記第1のケースと前記第2のケースとを回動可能に接続するための回動部と前記撮像
手段とを備える第3のケースを更に備えたことを特徴とする請求項1に記載の動画撮影装
置。

【請求項3】

前記第1のケースと前記第2のケースとの相対的な位置関係の変化の開始から終了まで
の時間を計測する計測手段と、

前記計測手段によって計測された時間に基づいて、前記動画取得手段によって取得され
た動画ファイルに加工処理を施す加工処理手段と、

を更に備えたことを特徴とする請求項1又は2に記載の動画撮影装置。

【請求項4】

前記加工処理手段は、前記取得制御手段によって取得された動画ファイルの先頭フレー
ムから所定フレームに対して加工処理を施すことを特徴とする請求項3に記載の動画撮影
装置。

【請求項5】

前記加工処理手段は、前記取得制御手段によって取得された動画ファイルの所定フレー
ムから先頭フレームに対して加工処理を施すことを特徴とする請求項3に記載の動画撮影
装置。

【請求項6】

前記第 1 のケースと前記第 2 のケースとの相対的な位置関係の変化の開始から終了までの単位時間あたりの位置関係の度合いを検出する第 2 の検出手段を更に備え、

前記加工処理手段は、前記第 2 の検出手段によって検出された度合いに基づいて、前記動画取得手段によって取得された動画ファイルに加工処理を施すことを特徴とする請求項 3 ~ 5のいずれか一項に記載の動画撮影装置。

【請求項 7】

前記動画取得手段による動画取得の終了を指示する指示手段と、
前記指示手段による動画取得を終了、又は前記第 1 の検出手段による検出によって動画取得を終了に応じて前記加工処理手段を制御する制御手段と、

を更に備えることを特徴とする請求項 3 ~ 6のいずれか一項に記載の動画撮影装置。

【請求項 8】

第 1 の表示手段と、

第 2 の表示手段と、

前記撮像手段を連続的に駆動させることによるイメージデータを元に前記第 2 の表示手段に表示させる第 1 の表示制御手段と、

前記第 1 の検出手段によって、前記第 1 のケースと第 2 のケースとの相対的な位置関係の変化を検出することにより、前記撮像手段を連続的に駆動させることによるイメージデータを元に前記第 1 の表示手段に表示させるよう制御する第 2 の表示制御手段と、

を更に備えたことを特徴とする請求項 1 ~ 7のいずれか一項に記載の動画撮影装置。

【請求項 9】

前記動画取得手段によって取得された動画ファイルを保持する第 1 の記憶手段と、

前記加工処理手段によって加工処理された動画ファイルを保持する第 2 の記憶手段と、

を更に備えることを特徴とする請求項 1 ~ 8のいずれか一項に記載の動画撮影装置。

【請求項 10】

接続部を介して回動可能に接続された第 1 のケース及び第 2 のケースを有する動画撮影装置の動画撮影制御方法であって、

撮像部を連続的に駆動させることにより動画ファイルを取得する動画取得ステップと、

前記接続部を介した前記第 1 のケースと第 2 のケースとの位置関係の変化を検出する検出ステップと、

前記検出ステップによる検出結果に基づいて、前記動画取得ステップによる動画ファイル取得の開始若しくは終了を制御する取得制御ステップと、

を含むことを特徴とする動画撮影制御方法。

【請求項 11】

撮像部と、接続部を介して回動可能に接続された第 1 のケース及び第 2 のケースとを有する動画撮影装置のコンピュータを、

前記撮像部を連続的に駆動させることにより動画ファイルを取得する動画取得手段、

前記接続部を介した前記第 1 のケースと前記第 2 のケースとの位置関係の変化を検出する検出手段、

前記検出手段による検出に基づいて、前記動画取得手段による動画ファイルの取得の開始若しくは終了を制御する取得制御手段、

として機能させることを特徴とする動画撮影制御プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 に記載の発明において、前記第 1 のケースと前記第 2 のケースとを回動可能に接続するための回動部と前記撮像手段とを備える第 3 のケースを更に備えたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項3に記載の発明は、請求項 1 又は 2に記載の発明において、前記第 1 のケースと前記第 2 のケースとの相対的な位置関係の変化の開始から終了までの時間を計測する計測手段と、前記計測手段によって計測された時間に基づいて、前記動画取得手段によって取得された動画ファイルに加工処理を施す加工処理手段と、を更に備えたことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項4に記載の発明は、請求項 3に記載の発明において、前記加工処理手段は、前記取得制御手段によって取得された動画ファイルの先頭フレームから所定フレームに対して加工処理を施すことを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項5に記載の発明は、請求項 3に記載の発明において、前記加工処理手段は、前記取得制御手段によって取得された動画ファイルの所定フレームから先頭フレームに対して加工処理を施すことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項6に記載の発明は、請求項 3 ~ 5のいずれか一項に記載の発明において、前記第 1 のケースと前記第 2 のケースとの相対的な位置関係の変化の開始から終了までの単位時間あたりの位置関係の度合いを検出する第 2 の検出手段を更に備え、前記加工処理手段は、前記第 2 の検出手段によって検出された度合いに基づいて、前記動画取得手段によって取得された動画ファイルに加工処理を施すことを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

請求項 7 に記載の発明は、請求項 3 ~ 6 のいずれか一項に記載の発明において、前記動画取得手段による動画取得の終了を指示する指示手段と、前記指示手段による動画取得を終了、又は前記第 1 の検出手段による検出によって動画取得を終了に応じて前記加工処理手段を制御する制御手段と、を更に備えることを特徴とする。

【 手続補正 9 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 3

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 3 】

請求項 8 に記載の発明は、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の発明において、第 1 の表示手段と、第 2 の表示手段と、前記撮像手段を連続的に駆動させることによるイメージデータを元に前記第 2 の表示手段に表示させる第 1 の表示制御手段と、前記第 1 の検出手段によって、前記第 1 のケースと第 2 のケースとの相対的な位置関係の変化を検出することにより、前記撮像手段を連続的に駆動させることによるイメージデータを元に前記第 1 の表示手段に表示させるよう制御する第 2 の表示制御手段と、を更に備えたことを特徴とする。

【 手続補正 1 0 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 4

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 4 】

請求項 9 に記載の発明は、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の発明において、前記動画取得手段によって取得された動画ファイルを保持する第 1 の記憶手段と、前記加工処理手段によって加工処理された動画ファイルを保持する第 2 の記憶手段と、を更に備えることを特徴とする。

【 手続補正 1 1 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 5

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 5 】

上記課題を解決するために、請求項 1 0 に記載の発明は、接続部を介して回動可能に接続された第 1 のケース及び第 2 のケースを有する動画撮影装置の動画撮影制御方法であって、撮像部を連続的に駆動させることにより動画ファイルを取得する動画取得ステップと、前記接続部を介した前記第 1 のケースと第 2 のケースとの位置関係の変化を検出する検出ステップと、前記検出ステップによる検出結果に基づいて、前記動画取得ステップによる動画ファイル取得の開始若しくは終了を制御する取得制御ステップと、を含むことを特徴とする。

【 手続補正 1 2 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 6

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 1 6 】

上記課題を解決するために、請求項 1 1 に記載の発明は、撮像部と、接続部を介して回動可能に接続された第 1 のケース及び第 2 のケースとを有する動画撮影装置のコンピュータを、前記撮像部を連続的に駆動させることにより動画ファイルを取得する動画取得手段

、前記接続部を介した前記第1のケースと前記第2のケースとの位置関係の変化を検出する検出手段、前記検出手段による検出に基づいて、前記動画取得手段による動画ファイルの取得の開始若しくは終了を制御する取得制御手段、として機能させることを特徴とする

。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】